

令和2年度 行政監査の結果（指摘・意見・リスク発現の可能性のあるもの）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 財政援助団体監査
- 2 監査対象 四日市看護医療大学育成会
健康福祉部健康福祉課（財政援助に関する事務の所管所属）
- 3 監査実施期間 令和 3年 1月14日

【四日市看護医療大学育成会】

指 摘

特になし

意 見

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
(1) 奨学金返還免除のリスク ① コロナ禍の影響による経済状況など、在学生や卒業生の生活にも様々な影響が及ぶことが想定できる。奨学金の返還猶予の拡充など、奨学金を活用した学生等に寄り添った対応を行うこと。	【 継続努力 】 令和 3年 9月30日 奨学金の返還対象となった場合には、個々の事情を十分聞き取りした上で返還猶予等の対応も行ってきたところである。今後も社会情勢等を踏まえつつできる限りの対応を図っていく。
	【 継続努力 】 令和 4年 3月31日 今後も個々の状況に応じて可能な限り学生に寄り添った対応を行っていく。

② 奨学金の目的や返還のリスクについて、事前に保護者や学生へ十分なレクチャーをすること。また、メンタルヘルスを含むフォローアップ体制を図り、退学者がでないよう取り組むこと。	【 継続努力 】 令和 3年 9月30日 これまでも奨学生に対して、その心構えや注意点について研修を行ってきているところである。今後も十分な理解や意欲向上につながる対応を工夫していく。
	【 継続努力 】 令和 4年 3月31日 奨学金の目的や返還となる場合の注意点については、学生のみならず、保護者へも入試前の入試相談会やオープンキャンパスの機会を活用しながら説明を行うとともに、入学後も奨学生に対する意識の醸成を行っていく。 メンタル面では大学全体で支援体制の向上を図っており、臨床心理士のほか担当教員からのサポート体制を確保し、学生への支援に努めていく。

2 3 E（経済性、効率性、有効性）、合規性等の視点から行った監査の結果

特になし

リスク発現の可能性があるもの

監査結果	対応状況
(2) 補助金の交付目的達成のリスク ・ 補助金の交付目的である市内の医療機関における看護師等の確保は達成しているか。 リスク発現の可能性（○予防策あり、△可能性あり、×発現） △ 補助金の交付目的は、四日市市内の医療機関における看護師、保健師及び助産師の確保であり、四日市看護医療大学育成会看護師等確保対策奨学金貸与規程にて奨学金として入学予定者や在學生に貸与されている。令和元年度における四日市看護医療大学育成会からの実績報告では、2/120名が退学し、12/150名が市内医療機関に従事した後に退職しており、補助金の目的である市内の医療機関における看護師等の確保は達成されていると判断できるが、引き続き、継続した取り組みが必要である。	【 対応状況 】 令和 3年 9月30日 離職率が高く、人材確保が不安定な看護師等の職に対して、奨学生30名を含め約40名の人材を毎年市内医療機関へ着実に就職させており、大学としては看護師等の確保に寄与していると考えている。 今後も、大学の奨学生入試における十分な事前説明や奨学生として入学後の研修の工夫などを通じて、市内医療機関へのより安定的な定着につながるよう努めていく。
	【 対応状況 】 令和 4年 3月31日 結婚、出産、転勤等による途中退職は避けられないものであるが、現状、市内医療機関等での看護師等の確保には十分貢献できている状況と捉えている。 市内の医療機関等への看護師等の確保並びに質の向上という補助金の交付目的の達成、また地域への定着率が向上するよう、引き続き入学前後の説明等を通して意識の醸成を図っていく。

【健康福祉部健康福祉課】

指 摘

特になし

意 見

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
<p>(2) 補助金の目的に関するリスク 国や地方自治体においても奨学金制度の貸与から給付への見直しが検討されている。社会情勢においても少子化が進んでおり、大学の経営にも影響が想定できる。補助額や奨学生の人数は実情に合わせて適切なものか研究すること。</p>	<p>【 継続努力 】 令和 3年 9月30日 奨学金について条件を付すことができない給付型への変更は考えていないが、補助額や奨学生の人数については、今後の医療現場の状況を鑑み、議論を続けていく。</p>
	<p>【 継続努力 】 令和 4年 3月31日 市内医療機関における看護師等の確保や定着といった観点から、返還不要となる給付型ではなく貸与型としている。 補助額や奨学生の人数については適切であると捉えており、市の医療体制の確保に貢献していると考えている。市内医療機関における看護師等の充足状況について、今後も市と継続的に情報交換しながら確認していく。</p>

2 3 E（経済性、効率性、有効性）、合規性等の視点から行った監査の結果

特になし

リスク発現の可能性があるもの

特になし